

平成 29 年度 居宅介護支援事業所ひまわり事業報告

1. 基本方針について

住み慣れた自宅でその人らしい生活が、要介護の状態になっても続けられるように、利用者や家族の意向を聞き取り、心身の状況を確認しながら、その人に応じた支援を行った。

町、医療機関や地域包括支援センター、各サービス提供事業所や施設等と連携を図り、利用者の選択に基づき、各種のサービスが偏ることなく、効果的に提供されるように配慮してきた。

2. 重点目標について

1) 利用者・家族の在宅生活（在宅介護）の支援に努める。

・支援を通し、利用者個人の残存能力、介護者の介護力等をアセスメントし、ご本人と家族が望んでいる生活と生活上の課題をその都度意向確認しながら整理し相談対応行った。

2) 医療との連絡・連携に努める。

・今年度、医療と介護の切れ目のない支援体制を構築する目的で、市町村、地域包括支援センター、介護保険サービス事業所の介護支援専門員が相互に連携するという「十勝地域における入退院時の連携ルール」が定められた。当事業所もそのルールに従っていくよう取り組んできた。また、上士幌町でも「在宅医療・介護連携推進フォーラム」が開催され、参加することで連携の重要性を再確認できた。30年度は介護保険の改正で、医療・介護の役割分担と連携の一層の推進が謳われており、より積極的に取り組んで行く必要がある。

3) 居宅介護支援事業所の業務体制の強化に努める。

・稼働率の向上について、1か月の目標件数（47件）を意識していたが、最終的には1年間の平均で39件（昨年は35件）であり、増加はしているものの目標には届かない。やはり、昨年同様、年間で24件の新規利用者があったにもかかわらず、施設入所や死去などの利用終了の件数（19件）が多い状況で、今後もこの傾向は続くと思われる。（別紙）

・介護支援専門員の専門知識及び技術向上を図るため、内外的な研修に参加し、資質向上に努めた。（別紙）

・今年度も、法人内でひまわり会議を定期的で開催し、全事業所内の新規利用者について紹介や事例検討を行い、違う立場からの視点や意見でより良いサービスにつながるよう担当者間の情報共有や連携を図ることができた。さらに、地域ケア会議に毎回参加し、各事業所の困難事例について、利用者や家族の生活を支えるために、多職種で課題検討できた。

・法人と地域をつなぐ役割として、地域住民が集まる交流の場に参加することについては、今年度は、毎月こでまりで開催される「うらめしや」、かみしほろ町「にっこり交流カフェ」に参加し、関係づくりを心がけた。

3. その他

平成30年度の介護保険の介護保険制度改正の中で、「居宅介護支援」の分野をみると、基本報酬がプラスの改定となっており、ケアマネジャーへの期待の大きさがみてとれる。また、ターミナルケアマネジメント加算の創設や退院・退所加算の拡充等があり、地域包括ケアシステムの構築におけるケアマネジャーに期待されていることが具体化されているものといえる。サービス調整や各機関との連携を担うケアマネジャーの重要性が増しているということであり、このことは大きな意味をもつ。今後も、「ケアマネ業務の本質」の部分をよく理解して、積極的に業務にあたっていきたいと考える。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
要支援2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	28
要介護1	20	19	19	20	19	18	18	21	22	23	21	22	242
要介護2	6	6	8	7	8	7	7	7	9	10	9	9	93
要介護3	4	3	3	2	3	3	3	2	2	2	3	5	35
要介護4	3	3	3	4	3	5	4	4	2	2	1	1	35
要介護5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	39	38	39	38	38	38	37	39	40	42	39	43	470

利用者動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規利用者	1	3	2	3	0	1	1	2	4	1	2	4	24
入所者	1	0	3	0	0	2	0	1	1	1	0	2	11
死亡	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	2	1	8

法人外研修

日程	内容	主催者
6月26日	「十勝地域における入退院時の連携ルール」説明会	北海道帯広保健所
11月13日	帯広市介護支援専門員連絡協議会 平成29年度研修会	帯広市介護支援専門員連絡協議会
11月20日	集団指導	北海道
12月2日	在宅医療・介護連携推進フォーラム	上士幌町
1月22日	平成29年度在宅医療推進フォーラムinとかち	北海道帯広保健所

法人研修

日程	内容	講師	参加者
4月28日	交通安全について	上士幌駐在所所長	1名
5月16日	「認知症ケア」について	帯広大谷短期大学社会福祉課 小林 聖恵氏	1名
6月20日	「高齢者施設のリスクマネジメント」 について	株式会社ビジネスサポート 粥川 文彦氏	1名
7月21日	よりよい認知症ケアへ	帯広大谷短期大学社会福祉課 小林 聖恵氏	1名
8月21日	「高齢者虐待と身体拘束の防止」 について	上士幌町包括支援センター 佐藤 眞由美氏	1名
10月3日	実践発表	各事業所	1名
10月27日	「感染症対策」について	介護老人保健施設かみしほ ろ神山 光治氏	1名
11月21日	「認知症の理解」について	帯広大谷短期大学社会福祉課 小林 聖恵氏	1名
2月28日	救急救命講習	上士幌消防職員	1名

その他研修

日程	内容	講師	参加者
6/27 9/26 1/19	トータルケアプログラム	全国高齢者研究会 泉田照雄氏	1名(主任職)

事業所勉強会

日程	内容	参加者
4月14日	被害妄想の発生機序について	2名
5月10日	医療との連携ポイントについて	
6月9日	利用者理解を深める視点	
7月12日	ケアマネジャーのためのナラティブアプローチ	
8月30日	認知症・ガン末期のケアマネジメントプロセスのポイント	
9月29日	看取り支援のケアマネとしての心構え	
10月30日	利用者のために地域でネットワークをつくるとは	
11月29日	統合失調症について	
12月29日	居宅介護支援事業所の加算について	
1月31日	在宅酸素療法を実施している利用者の肺疾患について	
2月28日	介護保険改正について	
3月30日	終末期のリハビリテーションの考え方と内容	

苦情の状況(主な内容及び処遇状況)

【平成29年度苦情件数 0件】

(苦情の内容)	(苦情の内容)
(処理状況)	(処理状況)